

広島広域都市圏地域貢献人材育成支援事業

<圏域内の市町が抱える地域課題や大学等に期待する取組>

区分	テーマ	地域課題の概要
⑩その他	人口減少対策	・進学や就職に伴う若年層の転出超過が顕著となっており、各市町で子育て支援や地元への就職支援等、様々な人口減少対策の取組を行っているが、人口減少に歯止めがかからない。

市町名	市町の地域課題・取組	大学等に期待する取組
竹原市	本市では、若い世代の進学や就職での転出超過が大きく、社会減の主な要因となっており、特に女性の転出超過が強まっている。 加えて、少子高齢化の進展により、生産年齢人口が減少する中で、雇用のミスマッチや人材の確保も継続的な課題になっている。 本市では、UIJターン就職を希望される方や将来地元での就職を希望する高校生などの学生の就職をサポートするために、地元企業と就職希望者とのマッチング及び就職支援イベントの情報提供などの取組を実施している。また、同時に安心して子どもを産み、育てられる環境の充実など少子化対策に取り組んでいる。	新規創業の促進や企業誘致による新たな雇用の創出、また、多様な人材が働きやすい環境の整備による雇用のミスマッチの解消に繋がっていくような効果的な取組を検討していただきたい。
大竹市	本市においては、子育てしやすい環境整備などを中心に定住施策を行っているが、人口は減少傾向にある。	自治体規模に応じた人口減少対策や定住施策について検証していただきたい。
東広島市	本市では、市中心部では人口増加が続いているものの、周辺地域では人口減少が進み、人口の偏在が起きている。人口減少地域総合対策として、地域内での経済循環を進めるとともに、住宅や子育て、教育等の生活環境の整備等を進め、地域特性に応じた施策を実施することとしている。	住民にとって、「住みたい、住み続けたい」と思えるまちづくりについて、効果的な施策などのアイデア等があれば、検討していただきたい。
江田島市	本市では、移住定住ポータルサイトや空き家バンクを活用した移住定住施策を図っており、暮らし・住まいに関する情報発信は適宜実施できているが、仕事のマッチングが課題となっている。	本市への移住を検討されてから、島内や近辺で仕事を探される方が一定数いらっしゃるが、生活に不可欠な「仕事」を後から探すのは、移住ステップとしては少しハードルが高いように感じている。移住の間口を広げるとしたら、仕事を決めてから移住するという流れも有効であると考えられるため、課題解決に向けたアイデアについて検討していただきたい。
坂町	本町では、子育てや介護を支え合うことができる三世帯同居・近居を推奨しており、進学や就職に伴い転出した子が、結婚出産を経て町内に定住する場合などに補助金等による支援を行っており、成果も表れている。	各市町の特性に応じた新たな人の流れの作り方があると考えられるが、その仕組みづくりについて、色々な地域での実証事業を検討していただきたい。
世羅町	高校・大学進学の転出超過が続いており、卒業後の還流を促す取組が必要となっている。	大学生の視点での、広域都市圏としての、人口還流の取組を提案していただきたい。
周防大島町	人口流出を抑制し人口流入を促進するためには、大学等新卒世代を誘引する就業機会の創出や、子育てしやすい環境整備、UIJターンによる人口の還流・逆流を図る必要がある。	大きな人の流れを創り出すほどの就職先が確保されているとは言い難いことから、新たな雇用の場の創出や魅力ある就職先を確保するための方策等、UIJターンの促進に向けた取組などを検討していただきたい。

市町名	市町の地域課題・取組	大学等に期待する取組
和木町	人口減少のうち社会人口の減少が顕著である。	社会人口を増加させている地方都市の取組や魅力・原因について調査・研究し、地域の実情を踏まえた効果的な取組を提案していただきたい。
上関町	本町は人口減少が急激に進んでおり、現在は高齢化率が57%を超えている。その要因として若年層の町外流出の影響が大きい。	UIJターンによる人口の還流・逆流につながるような人口減少対策を検討していただきたい。
田布施町	高校・大学進学を期に、町外への転出が多い傾向にある。年間で一定の転入はあるものの、転出の方が上回る状況である。	Uターン等での就職者を増やすため、小学生・中学生・高校生が地元や地域への愛着を形成するための取組を検討していただきたい。
平生町	人口流出を抑制し、人口流入を促進するために、関係人口の創出を図り、本町への移住を促進する必要がある。	本町の魅力の効果的な宣伝方法（PR活動）を検討し、実践していただきたい。
浜田市	大学等を卒業する世代の転出超過が顕著であり、この世代の誘引は人口減少対策として最重要課題と考えている。また、出生数の減少が続く中、若い世代が子育てしやすい環境整備が必要である。	若者目線での暮らしたいまちへの取組や若者に刺さる情報発信の手法を検討していただきたい。
川本町	人口流出を抑制し人口流入を促進するためには、大学等新卒世代を誘引する就業機会の創出や、子育てしやすい環境整備、UIJターンによる人口の還流・逆流を図る必要がある。	より多くの大学生が川本町へUIJターンしたくなるような情報発信の仕方、子育てしやすい環境の整備など、今の大学生が何を求めているのかを知れるアンケートなどを行っていただきたい。
美郷町	社会増に向けた取組を行う必要がある。情報発信、子育て、教育の制度についてあらゆる角度から充実していく必要がある。	自治体の取組、制度を学生たちに周知広報をするための活動をしていただきたい。